

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業

現地からのお便り

2017年8月
コンサベーション・インターナショナル

デモサイトの多忙な春

雨季が始まる前に、植樹をしました。その後、木の中に野菜を植えました。豚の飼育を始めたので、コンポストでミミズの飼育もしています。豚の尿は発酵させてから、薄めて直接地面にまきました。



春の植樹 © Tang Liang



春の植樹 © CI/Jin Yan

プロジェクトサイトでの土壌と生物多様性のモニタリング

4月に、土壌の栄養状態と炭素量を調べる生物多様性の調査が行われました。デモサイトでは、昆虫や鳥の種類がおびただしく増加したことが記録されました。化学防虫剤を使用していないので、自然な食物連鎖による害虫駆除が成立しつつあります。短期間では土壌の劇的な変化はわからないので、時間をかけて信頼性のあるデータを収集していきます。



生物多様性モニタリング © Sun Hanbin

ダイキン中国の皆さんが理県を訪問

ダイキン中国の皆さんが、4月17日から19日まで、理県を訪問しました。プロジェクトサイトで簡単な式典が行われ、アグロフォレストリープロジェクトのビジョンと進捗状況を発表しました。理県の環境保全森林局の副チーフ、ダイキン中国の代表、CI中国のフィールドプロジェクトマネージャー、ガンブ村のリーダーが、それぞれ短いスピーチをしました。式典の後、アグロフォレストリーがどのように行われているかを紹介するガイドツアーがありました。ツアーの最後、ダイキン中国の皆さんが土壌保全のために斜面に桃の苗木を植えました。



ダイキン中国の訪問 ©Tang Liang

二つのスタディツアー（パートナーのための貴州省でのツアーと、ガンブ村の住民のための崇州市でのツアー）

貴州省は植物の成育が非常に悪く、干ばつのある地域です。農業の発展と植物の成育回復のための戦略として、アグロフォレストリーを利用した地区もあります。5月8日から12日まで、CIは自然保護区からアグロフォレストリーに興味があるいくつかのパートナーを貴州省に招待して、学びました。

6月20日、ガンブ村の住民が Junqiao ファームにスタディツアーに行きました。Junqiao はエコフレンドリーな方法で家畜の飼育をしています。プロバイオティクスは家畜の飼料や肥料に

使われており、動物の健康によいだけでなく、飼料のコストを削減することにも役立っています。この方法はガンブ村での豚の飼育にも間もなく導入される予定です。



貴州省でのスタディツアーと、崇州市のエコフレンドリー農場 © CI/Jin Yan

Xiaozhaizigou 自然保護区のデモンストレーションサイトの計画

アグロフォレストリーを推進するための計画の一環として、デモサイトの1つが決まりました。Xiaozhaizigou 自然保護区の、Wulong 村です。来年には、2haの実験サイトを建設する予定です。サイトの計画は完了したばかりで、間もなく入札を募集する予定です。プロジェクトサイトの建設と管理のための資金は、積立金から用意します。CIはアグロフォレストリーシステムを開発するための技術サポートを提供する予定です。

コミュニケーション

プロジェクトサイトやコミュニケーション活動の写真やビデオを撮影して、プロジェクトのニュースレターや紹介ビデオに活用します。将来のプロモーションやコミュニケーションに使用するためのプロジェクト紹介の短い動画を撮影する予定です。草稿が完成して、最終編集を行っているところです。

村の住民や訪問者にアグロフォレストリーシステムを紹介するため、豚舎の壁に絵が描かれました。ガンブ村は都市からの観光客が好んで訪れる観光地になりつつあります。



豚舎の壁の絵 © CI/Jin Yan

今後の予定

チベットの黒豚と商用の豚、ミミズの飼育を理県のプロジェクトサイトで始めます。アグロフォレストリーデモンストレーション地域の保全契約と管理の遂行のモニタリングを行います。ダイキン中国によるボランティア活動を受け入れ、プロジェクトビデオも完成させる予定です。Xichuangbanna 自然保護区と Xiaozhaizigou 自然保護区でのプロジェクトを開始し、紹介動画を完成させます。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。